

## Y-2 : 非営利団体セッション

開催日時・会場 9月19日(水曜日) 13:20 - 14:50 405(4階)

### ワークショップで考えよう： 欧州研究協力・交流助成企画で国際化達成

所属研究機関の国際プロファイルを上げるため、URAには何ができるか？国際共同研究や研究者交流の可能性を最大に広げるための知識が必要と思われます。又、その知識や常識をうまく研究者や学生に伝えることも大事だと思われます。

過去の大会でのセッションの経験を振り替えて、今回のセッションはワークショップ型、グループワーク式で開催致します。URA同士でEUプログラム内容再び参加方法やメリットについて考えて、お互いの理解度を高めましょう！

### オーガナイザ／司会者

MatthieuPy: EURAXESS Japan Office Director



2008年仏ENSPG(現PHELMA)と京大で材料工学修士。2011年仏原子力庁・電子情報技術研究所で博士取得。京大でポスドク後、在日仏大使館科学技術部、2014年から現職。仏アヴィニオン出身。

## Y-2 : 非営利団体セッション

### 講演者

**Tom KUCZYNSKI:**

Delegation of the European Union to Japan S&T Section S&T Officer

ポーランド出身。経済学博士(広島修道大学)。2006年より2012年まで在日ポーランド大使館一等書記官として科学、工学、イノベーション、エネルギー、気候変動問題を担当。2012年から駐日EU代表部にて科学技術部のアドバイザーとして日EU間での連携研究を担当している。

**Naomichi YAMADA:**

NCP Japan 科学・技術・イノベーション Manager

2016年6月より日欧産業協力センターに於いて、HORIZON 2020 ナショナルコンタクトポイントに就任。

**Gediminas Ramanauskas:**

Delegation of the European Union to Japan S&T Section S&T Counsellor

2018年9月より、駐日EU代表部にて科学技術部カウンセラーに認定。本年度からは産学官連携本部の本部長補佐も担当している。